

STOP!

年金大改悪・消費税増税



政府は2013年10月から3年かけて2.5%も年金を引き下げようとしています。くわえて、さらに年金を悪くする案を検討しています。

今でも高齢者の42%、女性では65%が年収100万円未満なのに、これ以上の改悪は絶対許せません。

ひろがる「不服審査」のとりくみ

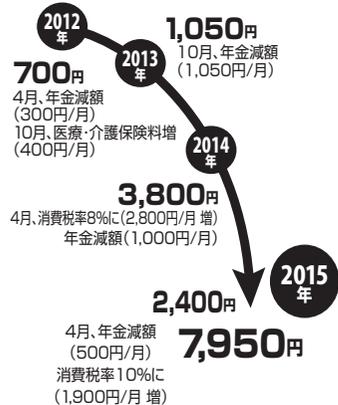
弱いものいじめは許せないと、行政不服審査のとりくみなど、全国で反対運動がひろがっています。世代を超えた連帯で、2.5%引き下げ中止を求める世論をひろげましょう。

2015年には高齢者の毎月の目減りは

年金月10万円75歳以上の場合

約**7,950円**に

年金減額+消費税負担額+医療・介護保険料



2.5%引き下げの中止を

希望の持てる年金にしよう

深刻化する低年金・無年金問題、「暮らしていけない」と、悲鳴があがります。非正規雇用の増大な

ど雇用の不安定化で、事態はますます深刻になっていきます。今こそ憲法をいかし、若

者やすべての人が安心できる年金制度に改善する必要があります。

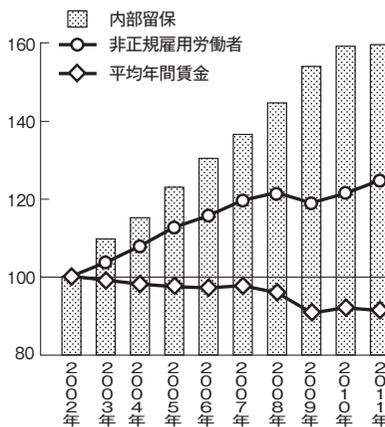
最低保障年金制度の創設が待たなしの課題です。

大企業や富裕層に応分の負担を求め、所得再分配機能を強化することで、必要な財源を確保することは十分可能です。



最低保障年金制度の創設を

勤労者の給与・非正規率・大企業の内部留保の推移 (2002年を100とした場合)



検討されている改悪案

- 年金を毎年引き下げる「マクロ経済スライド」の実施
- 年金支給開始年齢の68~70歳へのさらなる引き上げ
- 年金課税強化(公的年金等控除の削減)

全労連 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4
TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620
<http://www.zenroren.gr.jp>